



Newsletter June 2008

アロマオイル(精油)の力

アロマオイルの香りは心と体に作用し、精神的にも肉体的にも変化を与えます。その昔から使われていて、クレオパトラのバラの花びらのお風呂、この時代のミイラの処理にも使われていました。つまり、アロマオイル(精油)は薬理効果(薬物によって起こる生理的な変化)があります。アロマオイルの薬理効果について具体的な例を挙げてみます。。。。

バラのアロマオイル

精神的には。。。幸福感。リラックス効果。

うっとりするような魅惑的な香りが不安、緊張、いらいらを和らげる。

肉体的には。。。女性ホルモンのバランスを整える(月経に関わる心身のケア、更年期障害への対策、出産後の不安定な精神状態の改善等)。

女性の肌の若返り。乾燥した肌、赤みのある肌に有効。

ラベンダーのアロマオイル

精神的には。。。ストレスにおけるリラックス効果、不安や緊張をときほぐし、心に安らぎと充実感をもたらす。

肉体的には。。。ストレスせいの不眠対策。火傷の応急処置剤。

虫刺され、日焼けによる ほてりのケア。



- * 分かり易くする為に簡素化した説明になっています、御了解ください。
- * 使用におきましては 個々に注意が必要です。
- * 使用し過ぎには注意。妊娠中は使用しないでください。



アロマオイルのあれこれ



1. アロマオイルとは。。。。

大自然の恵み、植物の有効成分を抽出した物。300種類以上のアロマオイルがあります。有効成分からの抽出で、例えばローズのアロマオイルを一滴とるのには大よそ50個のバラの花が必要とされています。

2. アロマオイルの抽出方法。。。。

アロマオイルは植物の花、葉、根、樹皮、果実等から抽出します。
蒸留法。。原料を蒸留釜も入れ水蒸気を通す。ラベンダー、カモミール等
圧搾法。。果物の皮から抽出する場合用いられる。オレンジ、レモン等
溶剤抽出法。。原料を石油エーテルなどの揮発性溶剤につける。ジャスミン、ローズ等
等が主な方法です。
植物のもつ生命エネルギーの凝縮したのを私達が有効に使わせてもらっています。

3. アロマオイルの働き。。。。

吸い込む事により、鼻・肺を通り脳に働きかける。
皮膚から リンパ・血液に働きかける。

4. アロマオイルの具体的な使い方。。。。

吸入。。アロマライト・アロマポット・ハンカチ等に含ませる
マッサージ。。キャリアオイルと混ぜて体・顔に
入浴等。。浴槽にお湯にたらし のんびりと香りを楽しむ、その他色々

フェイシャル アロマオイル

Machiko Skin care ではローズとラベンダーの二種類のフェイシャル・アロマオイルを使用しています。アロマの香りをゆったりとしたフェイシャルでお楽しみください。



ローズブレンドオイル \$35
ラベンダーブレンドオイル \$30